

**淀城址** 江戸時代に徳川秀忠の命により松平定綱が築いた歴代譜代大名の城。

現在は淀城跡公園として整備されており、石垣や天守台が残っている。幕末、旧幕府軍は鳥羽・伏見の戦いに敗北して淀城に籠もろうとするが、淀藩に拒絶された。淀城は大坂城などとともに西国に睨みを利かすために築城されたが、皮肉にも官軍の勝利に一役買うことになった。



**淀水路 河津桜** 日本にあるサクラの一種である。オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑種であると推定されている。早咲き桜であり、花は桃色ないし淡紅色で、ソメイヨシノよりも桃色が濃い。また花期が1ヶ月と長い。2002年に本場・河津町(静岡県伊豆)



から苗木を取り寄せて淀水路に植え始めたが今や200本を超える。

**鳥羽伏見の戦勃発地** 慶応4年旧幕府軍は、淀方面から鳥羽街道と伏見街道の二手に分かれ北上して京都入りを目指した。これに対して薩摩藩を中心とした新政府軍は、城南宮から小枝橋方面に東西に長い布陣を敷いて北上軍への備えとし、また伏見の御香宮にも砲兵部隊を配置した。1年半に及ぶ戊辰戦争の初戦となった戦い。

**城南宮** 都の守護と国の安泰を願って、平安遷都の際に京都の南に創建されてから 1200 年。白河天皇が鳥羽離宮(城南離宮)を造営してからはその一部となり、代々の天皇や上皇の行幸がしばしばあった。

城南宮は、引越・工事・家相の心配を除く「方除(ほうよけ)の大社」と仰がれており、梅と椿の名所として有名。

特に 3 月上旬見ごろの 150 本のしだれ梅は圧巻。

